

4号機原子炉冷却材再循環ポンプ（A）軸封部の監視強化について

平成 18 年 2 月 22 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所 4 号機は定格熱出力一定運転中ですが、平成 18 年 2 月 14 日頃より、原子炉冷却材再循環ポンプ（A）の第 2 段軸封部（メカニカルシール）*¹ の圧力に緩やかな下降傾向が見られ、その後も圧力の下降傾向が継続していることから、本日より関連パラメータの確認頻度*²を増やし、監視を強化することとしました。

本事象は、第 2 段軸封部に何らかの不具合が生じているものと推定しておりますが、当該ポンプのシール機能は維持されていることから、ただちに当該ポンプの運転に影響を与える状態ではありません。

（添付「4号機原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部概略図」参照）

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

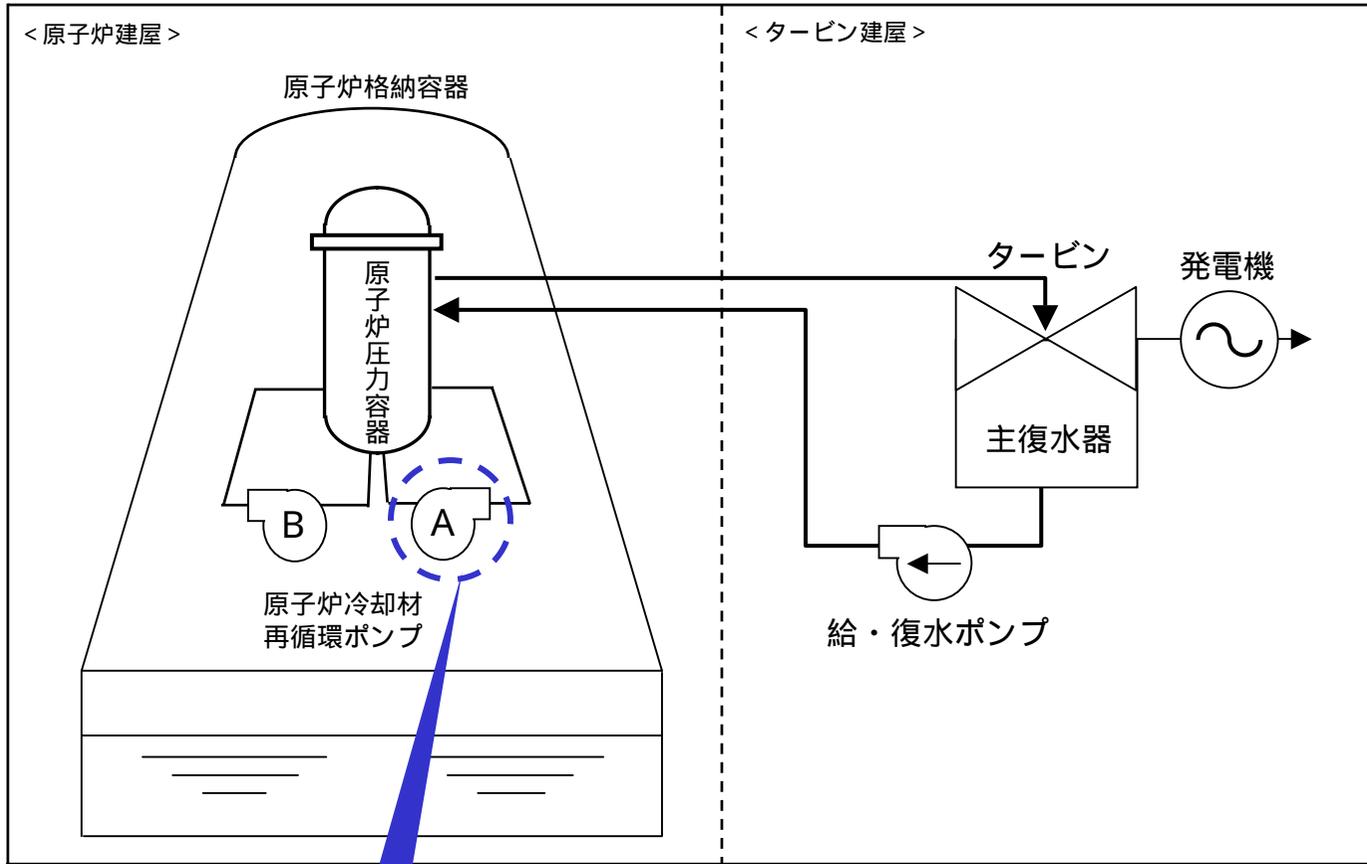
* 1：軸封部（メカニカルシール）

ポンプ内部の水（冷却材）が主軸を通してポンプ外部に出ないようにするために設けられている部分。軸封部は 2 段構成となっている。

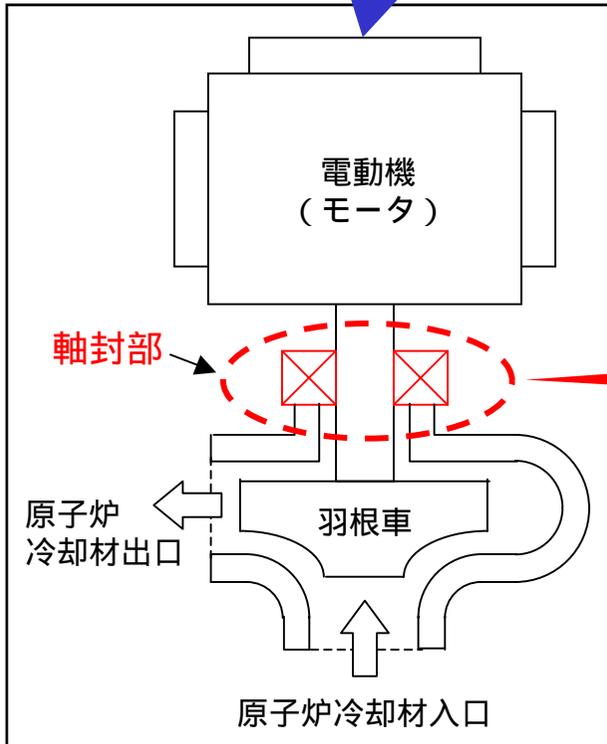
* 2：関連パラメータの確認頻度

原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部の圧力、温度および格納容器内低電導度廃液系ドレン流量の確認頻度を 1 日 1 回から 1 時間に 1 回に増やす。

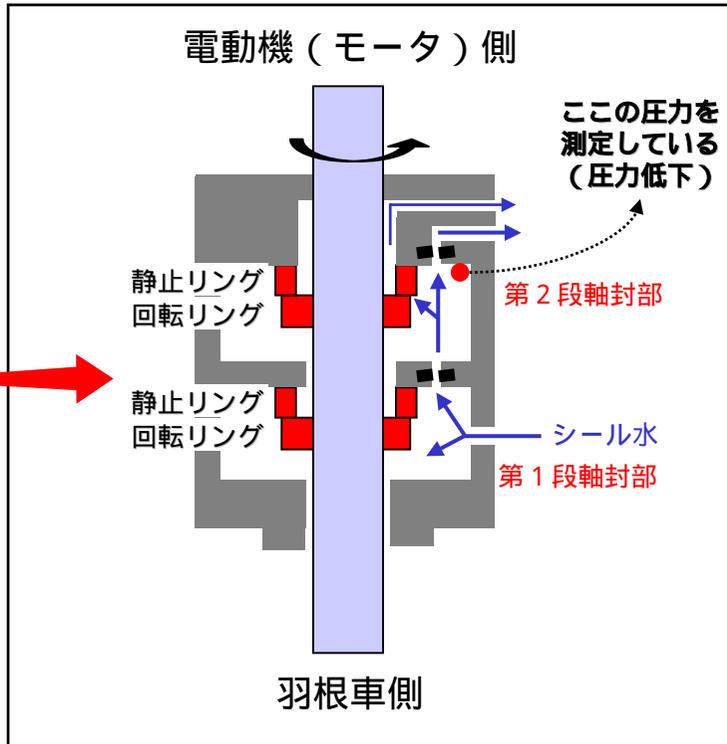
「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における、区分 に該当するものとしてホームページに掲載したものです。



系統概略図



原子炉冷却材再循環ポンプ概略図



軸封部拡大図

4号機原子炉冷却材再循環ポンプ軸封部概略図